



一般質問

いがらし のぶこ
五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

認知症の実情に即した取り組みを

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らせるよう「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、地方公共団体には「認知症施策推進計画」策定の努力義務が課せられた。計画の内容を踏

まえつつ、当事者の実情に即した取り組みが期待される。また、自主防災組織の体制整備や育成などの取り組み、町民のボランティア意識の向上と活動のきっかけ作りについて質した。

ここが
聞きたい

認知症施策推進基本計画

問 計画策定にあたっては、地域の実情に沿った創意工夫、町他計画との調和を取ることなどが求められるが、どのように取り組んでいくのか。

答 現在、国の認知症施策推進本部が計画策定を進めており、近く示されることから、その内容を十分に確認した上で、町の計画策定の必要性について検討を進めたい。

ここが
聞きたい

認知症ケアを学ぶ機会を

問 認知症ケア技法であるユマニチュード※¹は、認知症患者の暴言等が減り、介護者の負担が軽減される効果がある。町でも認知症サポーター養成講座などで町民向けに学ぶ機会を設けては。

答 町が毎年開催している認知症に関するフォーラムにおいて、一つの題材としてユマニチュードを取り上げるかどうか、参加者のニーズを踏まえて検討していきたい。

ここが
聞きたい

自主防災組織の重要性

問 各地区の自主防災組織の結成率は上昇しているが、構成員の交代時には引継ぎなどのマニュアルもなく、現場には課題がある状況。この課題に対する町の見解は。

答 活発に活動している地域がある一方で、活動が停滞している地域もあると認識。それを受けて、今年の防災セミナーでは自主防災組織の役員向けセミナーも開催するよう準備を進めている。

ここが
聞きたい

訓練実施とマニュアル周知

問 自主防災組織は災害発生時に初動の防災体制として重要。組織が機能するように訓練を実施してはどうか。また、各避難所の運営マニュアルはどのように周知しているのか。

答 まずは訓練よりも全地域の組織体制の整備などからスタートしたい。また、避難所運営マニュアルは、見直しを行い、各地域と避難施設管理者に周知するよう準備しているところである。

ここが
聞きたい

ボランティア体験講座を

問 ボランティアセンターにおいて、町民とボランティア団体を結び付け、町民がボランティア活動を体験できる機会を設けてはどうか。

答 体験型講座は行っていないが、健康福祉出前講座でボランティアセンターの活動について話す機会を設けているので、参加者の意見を聞き、体験を含めた講座の在り方を検討していきたい。

令和6年度

当別町健康福祉出前講座



当別町

健康や生きがいづくり、社会参加など地域社会で豊かに暮らすために、知りたい、学びたい講座をご利用ください。

当別町健康福祉出前講座

当別町 健康福祉出前講座について



詳細はこちら

※1 ユマニチュード…フランス発祥の認知症ケア技法。「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス語。



一般質問

よしかた ゆき お
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

訪問介護事業所へ抜本的な支援を

訪問介護報酬が引き下げられ厳しい状況にある事業所に対し、抜本的な支援を行うべきと質した。次に、带状疱疹は年々発症率が高まっているため、ワクチンを公費負担とすべきと質した。次に、札幌市と当別町

では生活水準に差は少ないと考えるが、級地の違いから生活保護費に差があるため、級地を引き上げるべきと質した。最後に、自衛隊への名簿提供について、個人情報保護の観点から町はどのような認識か質した。



動画はこちら



訪問介護サービス（一緒に料理を行う様子）

ここが
聞きたい

訪問介護事業所への支援

問

訪問介護の基本報酬が引き下げられ、訪問介護事業所が厳しい状況に置かれている。特定事業所加算等の取得も簡単ではなく、加算されても状況は厳しいと聞く。抜本的な支援が必要では。

答

以前の答弁同様、事業所に運営補助を行う考えはないが、厳しい実態があることから、当別町が特別地域加算の指定を受けることについて、町内事業者の意見も聞きながら申請を検討する。

ここが
聞きたい

生活保護費の級地引き上げ

問

札幌と当別で生活水準に大差はないが、地域ごとの物価等を支給額に反映させる級地区分の変更により、生活保護費は当別のほうが低くなっている。実情に合った級地適用を求めるべきでは。

答

一部自治体で基準額が減少する等の懸念から、令和5年の級地区分の変更は見送られた。今後の方向性等は示されていないが、引き続き、道や町村会と連携して、国に地域の実情を訴えていく。



町福祉部が入る総合保健福祉センターゆとり

ここが
聞きたい

带状疱疹ワクチン公費負担

問

带状疱疹の発症率が高まっており、患者も治療に苦慮している。ワクチンが高額であるため、助成を行う市町村もあり、厚労省でも定期接種化が検討されている。町でも公費負担とすべきでは。

答

多くの成人に発症リスクがあること等から、厚労省が定期接種化を検討していることは承知している。助成を行う市町村の接種率などの情報収集を進めるとともに、国の動向を注視していく。

ここが
聞きたい

個人情報保護法と名簿提供

問

自衛隊への名簿提供を希望しない方に対する周知は、町広報で2回知らせたのみ。当事者への周知が不十分では。

答

令和6年度が名簿提供の初年度となるため、町

HPに掲載し、町広報にも2回掲載するなど、対象者や保護者の目に留まるよう努めた。名簿提供は法令に基づく適正な事務のため、次年度も同様に対応する考えである。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。





一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

スウェーデン大通の整備と充実

①サツドラ当別太美店と西当別支所の開業により、交通量が増加しているスウェーデン大通について、歩車道の整備や無電柱化が必要ではないか質した。②道民の森の利用増に向け、道の駅等を組み合わせたツ

アーを企画してはどうか質した。③ChatGPT 導入後1年となるが、活用の成果がどのように住民へ反映されているのか質した。④郵便料金が大幅値上げとなるが、どのようにコスト増を回避するか質した。

ここが
聞きたい

無電柱化の実現は

問

歩道の電柱等は強風で倒壊し、除雪作業の障害になる場合がある。無電柱化すれば倒壊の危険がなくなり、歩道が広がる等、防災や景観等の面でメリットがある。無電柱化は実現できないか。

答

無電柱化は、防災上や景観上、必要性があると認識しているが、最低10億円がかかることや、維持管理等の課題が大きく、スウェーデン大通を含めて町内での導入は考えていない。



スウェーデン大通

ここが
聞きたい

太美雪堆積場の夏季利用

問

太美雪堆積場の夏季利用として、公園機能を期待していたが、その後の進捗はどのようになっているか。

答

雪堆積開始から地盤の状況を見ていたが、令和7年度には夏季利用できる環境にしたいと考えている。整備内容としては、地域と協議を重ねた結果、多目的広場とする予定である。

ここが
聞きたい

道民の森と町内施設ツアー

問

町には道の駅、ロイズタウン工場、当別ダムなど魅力的な施設がある。道民の森の利用者増に向けて、これら施設と道民の森をセットにした町内ツアーを企画しては。

答

観光協会と連携して、「町内の観光施設や飲食店を組み込んだバスツアー」を企画した旅行会社に対する助成制度を創設し、町内全域を巡る観光客の誘致に着手している。

ここが
聞きたい

生成 AI によるサービス向上

問

ChatGPT が令和5年10月に導入され1年が経つが、役場内での成果が、どのように町民に反映されているか。

答

さまざまなデータの有効活用により、広報紙や案内文書の情報提供の質が上がっていることから、町民へのサービス向上につながっていると認識している。

ここが
聞きたい

郵便料金の値上げ対策

問

令和6年10月から郵便料金が大幅値上げとなるが、コスト増を回避するため、どのような対策を検討しているか。

答

値上げによりコストが上昇することは明らかで

あるため、職員にはコスト削減について改めて周知徹底を図っていく。電子メールなどの活用が可能な場合には、公共サービスの低下にならないように確認した上で、適宜見直しを検討していく。



一般質問

さとう たつ
佐藤 立 議員

質問の
ねらい

まち全体での子どものいじめ対策

いじめ防止対策推進法第3条によれば、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるように、関係者の連携の下、いじめ防止対策を行うこととされている。学校の内外を問わずいじめが行われない当別を目指すに

あたって、子どもプレイハウスなど学校外の子どもの関係者の役割も重要。また、子どものいじめ防止を、学校に過度の負担がかかることのないよう実施することも欠かせない視点である。



動画はこちら

ここが
聞きたい

プレイハウスの基本方針は

問

子どもプレイハウスではいじめ防止基本方針を作成しているのか。もしくは、子どもプレイハウスに適用または準用されるいじめ防止基本方針はあるのか。

答

当別町いじめ防止基本方針及び各学校で定めた基本方針がある。子どもプレイハウスに特化した方針はないが、町の方針及び国の放課後児童クラブ運営指針に基づき適切に対応している。

ここが
聞きたい

いじめに対する町の関与は

問

子どもプレイハウスが当面準拠していくことになる当別町いじめ防止基本方針の中に、子どもプレイハウスと、それを所管する福祉部の関与について記載してはどうか。

答

国の指針に準拠して改善していく考えだが、その指針が示されていないため、現状、町では子ども未来課を福祉部に移管し、プレイハウスや学校との連携体制づくりをしている。



当別プレイハウス（とうべつ学園内）

ここが
聞きたい

いじめ対策責任者を明確に

問

令和3年12月21日閣議決定を踏まえ、学校の内外を問わず当別の子どもたちすべてのいじめ対策を統括する責任者を明確にするとともに、学校とは別に専任組織を設けてはどうか。

答

こども家庭庁では、学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた調査研究がされている。今後、組織体制に関する通知等があれば、内容を確認して検討していく。

ここが
聞きたい

関係者としっかりと連携を

問

国の方向性が示された時に、速やかに子どもたちを支える体制を構築するために、必要な準備を町長部局、町教委と連携しながら進めていく必要があるのでは。

答

国の方向性を見極めて具現化するのが町長の責任。推進法の精神を町民や議員と共有し、国の方針が出た段階で、町、学校、保護者が果たすべき責務を総合的に町として協議していきたい。

ここが
聞きたい

スクールソーシャルワーカー

問

町が配置するSSW※1は、学校や子どもプレイハウスのほか民間の習い事などを含めて、当別全体の情報共有や連携体制の推進に役割を果たすことができるのか。

答

学校だけでは解決困難な場合にSSWが関係機関と連携を図り適切にサポートしている。学校やいろいろな団体とつながってきた実績もあり、協力体制の中に入っていくことは大切である。

※1 SSW…スクールソーシャルワーカーの略。児童生徒を環境面からサポートする社会福祉専門職。





動画はこちら

一般質問

かく た ひろすけ
角田 広佑 議員質問の
ねらい

庁舎の修繕と観光振興の推進を

庁舎新築移転計画の方針転換に伴い現庁舎の耐震性について調査費を予算計上しているが、バリアフリー法（2006）に基づいた改築の必要性に対する認識を伺う。併せて、今夏の本庁舎における酷暑対策への取

り組みについて伺う。令和6年度、観光振興課が新設され、メディア、SNS等で様々なプロモーションを行っている。実際、町に来訪された観光客と、さらなる観光振興への取り組みについて伺う。

ここが
聞きたい

庁舎のバリアフリー対策

問

バリアフリー法で本庁舎は「特別特定建築物」とされ、2千㎡以上の増改築等の際、建築物移動等円滑化基準への適合義務が課されている。この基準を基にしたバリアフリー対策の考えは。

答

現庁舎はバリアフリー法施行前の建物であるため同法の適用は受けないが、今後、新築や大規模な増改築が必要となった場合には、同法に基づき基準への適合義務を果たしていく。

ここが
聞きたい

今夏の酷暑対策

問

今年の真夏日は9日で、昨年の約半分となり、暑さは幾分か和らいだと言えるが、真夏日の庁舎上層階は昨年同様に過酷な状況だった。今夏はどのような酷暑対策を行ったのか。

答

防災備蓄品のスポットクーラーや大型扇風機を借用し、業務ができる冷涼なオープンスペースを設営するなど、労働環境に最大限配慮し、過大な二重投資とならないよう工夫を講じて対応した。

ここが
聞きたい

直近の観光流入人口

問

SNSでの魅力発信、移住定住のテレビ番組制作等、今までのプロモーションで、観光客はどれくらい町に来たのか。

答

昨年度の観光客数は過去最高の162万5千人で

あった。また、今年6月放送のテレビ番組の視聴者は7万6千人と報告を受けており、放送後の6月の観光客数が前年同月比3万2千人増となったことから、一定のプロモーション効果があったと考えている。

ここが
聞きたい

本町地区の観光コンテンツ

問

町が示した構想案によると、西当別地区を「新しいまちの顔」とし、本町地区に観光客の流動を目指していくとのことだが、本町地区ではどのような観光コンテンツを考えているのか。

答

本庁地区にある食と亜麻生産や開拓の歴史といった町独自のストーリー性を組み合わせた観光コンテンツが有効と考えていることから、新設した観光振興課で誘客促進を図る。

ここが
聞きたい

武者行列を開催しては

問

当別町は伊達政宗直系の子孫が拓いた伊達家ゆかりの地。歴史ファンが訪れるポテンシャルを秘めている。観光振興のため、岩出山や北海道伊達市の祭で行う武者行列を当別でも開催しては。

答

岩出山や伊達市とは歴史を踏まえた交流を深めており、その機運を高めることを町として検討していきたいと考えているので、ご指摘の件は観光振興の上で参考とさせていただきます。



政宗公まつりの様子（宮城県大崎市）

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



初開催 カードを使って気楽に話せる！

とべと〜く

当別町議会主催

まずは みんなで語りませんか

子育てのこと、暮らしのこと

町政のことやこんなこと

※参加には申し込みが必要です。締め切りは11月15日(金)です。
※定員を超えるお申込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。

① 11月19日 火

18:00 ~ 20:00

西当別コミュニティセンター（定員 28 名）

② 11月20日 水

10:00 ~ 12:00

当別町総合保健福祉センター ゆとろ（定員 28 名）

TOBETALK



当別のいま
いいこと、困っていること…

当別のこれから
こんな町になってくれたら嬉しいな…

思いは人それぞれ…

当別町議会では、
町民の皆様のお話をより深くお聞きするため、
新たに広聴会（試行）を開催します。

ぜひご参加いただき、
皆様のリアルな声をお聞かせください！

申し込み期限
11月15日(金)

【申し込み方法】

WEB：右記「二次元バーコード」からお申し込みください。

当別町議会のホームページからもアクセスできます。

TEL：議会事務局（0133-23-3247）までお電話ください。



「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

